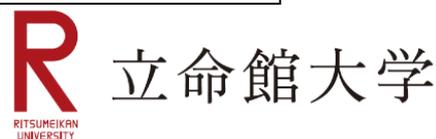


本日 15 時に京都市交通局からも京都市政記者室に送信しています。

## NEWS RELEASE



2019.11.29 <計3枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

**映像学部と京都市交通局との連携プログラム  
学生が「100番台の観光に便利な系統」のPR映像を制作  
市バスで市内観光がますます便利に快適に！**

映像学部(※1)は、京都市交通局との連携プログラムにおいて、市内の世界文化遺産等の歴史的建造物を巡る観光系統(100番台の系統)をより便利な系統としてPRするための映像を制作しました。このPR映像は12月2日(月)から四条駅および京都駅のデジタルサイネージに掲出されます。

同学部は、2007年の開設以来、実際のコンテンツ開発の現場を授業の中で体験し、実践的な知識と技術を習得できるよう、企業や学外機関と連携して、具体的な目標や目的をもったコンテンツの共同開発、共同研究を実施する科目「企業連携プログラム(※2)」(2019年度は8クラス開講、94人が受講)を設置しています。京都市交通局との企業連携プログラムは2017年4月から開始し、学生たちは市バス・地下鉄のPRをテーマに自ら企画立案・映像制作に取り組んでまいりました。

2019年度は、4月から7月まで全15回の授業において、「100番台の観光に便利な系統」をテーマにPR映像の制作に取り組みました。市バスの利便性および快適性をより効果的に表現することに加えて、観光客の視点に立ち、企画立案から制作までの一連の過程を体験しました。企画立案においては、必要なリサーチ、企画設計、企画書作成などの知識を身につけ、実践することで理論と実践の両側面から動画制作について学びました。

本取り組みは、学生の学びの場としてだけでなく、公共交通の利用促進にも寄与することを目指しています。

記

掲出開始日：2019年12月2日(月)以降順次

掲出場所：四条駅、京都駅のデジタルサイネージ

※地下鉄四条駅は北改札口、京都駅はコトチカ広場に設置しています

映像内容：別紙参照

制作メンバー：映像学部の授業「企業連携プログラム」受講生 17人(2回生以上)

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学映像学部事務室 担当:石原

TEL. 075-465-1990

<http://www.ritsumei.ac.jp/>

## ※1 立命館大学映像学部について

アート、ビジネス、テクノロジーを総合するアプローチで映像分野における「プロデュース」能力を育成し、社会の活性化と生活の質の向上につながる映像文化を創造する人材の育成をめざす目的のもと、日本で初めて映像に軸をおいた総合大学芸術系学部として2007年に開設。

## ※2 企業連携プログラムについて

映像学部は、開設以来、実際のコンテンツ開発の現場を授業の中で体験し、実践的な知識と技術を習得するため、企業や学外機関と連携し、具体的な目標、目的をもったコンテンツの共同開発、共同研究を実施する科目「企業連携プログラム」を設置している。

京都市交通局とは、2017年度から連携し、市バス・地下鉄のPR映像を制作している。この連携事業は、若い感性による斬新なPR動画の制作と、広告制作過程の体験による学生の実践的な学びを通じた人材育成を目的としている。

### 映像内容

#### (1) A班



#### ★ポイント

“移動も観光”をコンセプトに、京都を訪れる観光客の皆様へ「観光に便利な系統」をPRすることにより、車窓からの景色を楽しんでもらいながらの観光を提案。

#### (2) B班



#### ★ポイント

「観光に便利な系統」と「生活系統」を対比させ、3つのシチュエーションを通して、「観光に便利な系統」の快適さ、便利さを、キーワード“Smart!”で表現。

(3) C 班



★ポイント

占いやおみくじのゲーム要素を取り入れることで、画面の写真を撮影してもらい、SNSで写真を拡散してもらうことにより、話題性を高め、更なるPR効果を狙う。

(4) D 班



★ポイント

はじめて京都を観光される方にも「観光に便利な系統」を知っていただき、ご利用いただけるよう、おもてなしの気持ちを込めた動画を制作。